



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)横山 裕司 TEL 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	81,116	11.9	4,315	32.2	4,936	27.2	3,007	△9.2
23年3月期第2四半期	72,505	24.9	3,264	114.8	3,880	128.2	3,311	258.1

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,278百万円(△31.5%) 23年3月期第2四半期 3,327百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	72.90	—
23年3月期第2四半期	8,026.99	—

(注) 平成23年3月期第2四半期の1株当たり四半期純利益につきましては、平成22年10月1日に効力が発生した株式分割(普通株式1株につき100株の割合)が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の期中平均株式数により算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	101,891	31,114	30.1
23年3月期	116,822	30,035	25.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 30,688百万円 23年3月期 29,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	29.00	29.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	179,000	10.2	8,200	4.4	9,000	1.7	5,950	0.3	144.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期2Q	41,259,500株	23年3月期	41,259,500株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	2,800株	23年3月期	2,800株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期2Q	41,256,700株	23年3月期2Q	41,256,700株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成22年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。平成23年3月期第2四半期の期中平均株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、3月に発生した東日本大震災後に急速に落ち込みましたが、サプライチェーンの復旧や自粛ムードの緩和などにより回復基調にありました。しかしながら、欧州の金融不安や米国の景気後退懸念を背景とした円高・株安の進行により、依然として不透明な状況となっております。

当社の属する医療業界におきましては、平成22年度の診療報酬プラス改定により医療機関の経営状況は改善しているものの、国の厳しい財政状況や平成24年度の診療報酬・介護報酬のダブル改定を控えていることなどから、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと当社グループにおきましては、大型のプロジェクト案件の計上があったことや、医療設備メーカー・調剤薬局事業の業績が好調に推移したこと、ヘルスケア事業における介護付有料老人ホームの運営が計画通り推移したこと等から、グループ各社とも堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は81,116,590千円（前年同四半期連結累計期間比11.9%増）、営業利益は4,315,671千円（前年同四半期連結累計期間比32.2%増）、経常利益は4,936,483千円（前年同四半期連結累計期間比27.2%増）、四半期純利益は3,007,705千円（前年同四半期連結累計期間比9.2%減）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

① トータルパックシステム事業

トータルパックシステム事業におきましては、大型のプロジェクト案件が早期に計上できたこと、既存得意先への医療機器等の販売やメーカー系子会社の介護用浴槽の販売、手術室の施工受注が積み上がったこと等により順調に推移いたしました。

この結果、売上高は26,545,495千円（前年同四半期連結累計期間比9.6%増）、セグメント利益（営業利益）は2,353,857千円（前年同四半期連結累計期間比23.2%増）となりました。

② メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、医療機器・診療材料の販売数量増加と効率化を推し進めたことで、売上高、利益率が改善いたしました。また、昨年10月より連結した株式会社札幌メディカルコーポレーションの業績が寄与いたしました。

この結果、売上高は42,990,941千円（前年同四半期連結累計期間比14.3%増）、セグメント利益（営業利益）は872,357千円（前年同四半期連結累計期間比22.6%増）となりました。

③ ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、介護付有料老人ホーム運営事業における入居者が稼働率約92%である1,200名前後で安定的に推移するとともに、運営の効率化を図りました。また、食事提供サービス事業におきましても一部契約が終了した一方で、病院や老人ホームを中心に新たな契約先を獲得いたしました。

この結果、売上高は3,801,708千円（前年同四半期連結累計期間比0.6%減）、セグメント利益（営業利益）は567,177千円（前年同四半期連結累計期間比23.8%増）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、ジェネリック医薬品や調剤技術料の加算獲得に注力するとともに、運営の効率化を図りました。また、新規に3店舗を出店いたしました。なお、株式会社仙台調剤において震災の影響により前期算入されなかった3月分の業績を加味しております。

この結果、売上高は7,261,436千円（前年同四半期連結累計期間比14.0%増）、セグメント利益（営業利益）は784,308千円（前年同四半期連結累計期間比50.8%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、動物病院事業が順調に推移いたしました。また、理化学機器の販売も計画どおり進捗し、利益率も改善いたしました。

この結果、売上高は517,008千円（前年同四半期連結累計期間比8.9%増）、セグメント利益（営業利益）は75,723千円（前年同四半期連結累計期間比24.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は101,891,992千円となり、前連結会計年度末と比べて14,930,425千円減少いたしました。その主な要因は、土地が1,920,422千円増加した一方、受取手形及び売掛金が9,019,888千円、現金及び預金が5,879,857千円減少したこと等によるものであります。

負債は70,777,398千円となり、前連結会計年度末と比べて16,009,640千円減少いたしました。その主な要因は、賞与引当金が50,701千円増加した一方、支払手形及び買掛金が7,242,696千円、長期借入金が3,211,637千円、1年内返済予定の長期借入金が1,927,138千円減少したこと等によるものであります。

純資産は31,114,593千円となり、前連結会計年度末と比べて1,079,215千円増加いたしました。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が1,196,444千円、その他有価証券評価差額金が785,217千円減少した一方、四半期純利益により利益剰余金が3,007,705千円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は30.1%（前連結会計年度末比4.7ポイント増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは5,972,214千円の収入（前年同四半期連結累計期間比84,327千円支出増）となりました。その主な要因は、仕入債務が7,242,696千円減少し、法人税等の支払額が958,215千円あった一方、売上債権が9,019,888千円減少し、税金等調整前四半期純利益を4,958,012千円計上したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは3,416,542千円の支出（前年同四半期連結累計期間比3,187,542千円支出増）となりました。その主な要因は、定期預金の払戻による収入が869,730千円、短期貸付金の回収による収入が688,248千円あった一方、有形固定資産の取得による支出が2,531,826千円、短期貸付けによる支出が1,030,000千円、定期預金の預入による支出が940,218千円、投資有価証券の取得による支出が523,273千円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは8,480,961千円の支出（前年同四半期連結累計期間比5,500,537千円支出増）となりました。その主な要因は、長期借入れによる収入が220,000千円、社債の発行による収入が98,590千円あった一方、長期借入金の返済による支出が5,358,775千円、社債の償還による支出が1,334,000千円、配当金の支払額が1,196,444千円、短期借入金の純減少額が840,000千円あったこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて5,935,646千円減少し、15,814,600千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては現在精査中であり、平成23年5月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりませんが、業績予想の修正が必要となった場合には、改めて公表いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,767,751	16,887,894
受取手形及び売掛金	41,688,719	32,668,830
有価証券	25,193	39,893
商品及び製品	5,858,595	6,380,212
仕掛品	1,284,766	1,624,091
原材料及び貯蔵品	901,985	784,316
その他	6,905,871	5,763,403
貸倒引当金	△138,141	△141,362
流動資産合計	79,294,740	64,007,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,818,860	6,642,139
土地	5,892,398	7,812,820
貸与資産(純額)	57,411	56,830
賃貸不動産(純額)	9,066,740	9,094,271
その他(純額)	1,261,925	1,078,357
有形固定資産合計	23,097,336	24,684,420
無形固定資産		
のれん	1,087,177	1,050,368
その他	470,935	444,752
無形固定資産合計	1,558,113	1,495,121
投資その他の資産		
長期貸付金	7,142,735	6,834,462
その他	7,766,802	6,887,867
貸倒引当金	△2,037,311	△2,017,158
投資その他の資産合計	12,872,226	11,705,171
固定資産合計	37,527,677	37,884,713
資産合計	116,822,417	101,891,992

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,604,402	35,361,706
短期借入金	2,600,000	1,760,000
未払法人税等	1,585,156	1,413,251
賞与引当金	1,012,584	1,063,286
その他	12,919,750	9,421,848
流動負債合計	60,721,894	49,020,094
固定負債		
社債	3,942,000	3,480,000
長期借入金	18,461,875	15,250,238
退職給付引当金	1,703,372	1,693,693
資産除去債務	65,224	67,309
その他	1,892,671	1,266,064
固定負債合計	26,065,145	21,757,304
負債合計	86,787,039	70,777,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,667,081	5,667,081
資本剰余金	10,036,491	10,036,491
利益剰余金	12,819,619	14,630,847
自己株式	△1,059	△1,059
株主資本合計	28,522,132	30,333,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,160,064	374,847
為替換算調整勘定	△12,649	△19,902
その他の包括利益累計額合計	1,147,415	354,944
少数株主持分	365,829	426,288
純資産合計	30,035,378	31,114,593
負債純資産合計	116,822,417	101,891,992

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	72,505,753	81,116,590
売上原価	62,179,080	69,239,267
売上総利益	10,326,673	11,877,323
販売費及び一般管理費	7,062,532	7,561,651
営業利益	3,264,140	4,315,671
営業外収益		
受取利息	275,688	184,325
受取配当金	34,497	30,905
負ののれん償却額	329,558	329,558
持分法による投資利益	18,430	18,078
その他	293,871	302,149
営業外収益合計	952,045	865,017
営業外費用		
支払利息	225,433	190,301
その他	110,133	53,905
営業外費用合計	335,566	244,206
経常利益	3,880,619	4,936,483
特別利益		
固定資産売却益	5,526	12,815
退職給付制度改定益	50,981	73,587
負ののれん発生益	569	—
特別利益合計	57,077	86,402
特別損失		
投資有価証券売却損	—	1
投資有価証券評価損	103,152	7,463
固定資産売却損	21,185	—
固定資産除却損	19,456	41,120
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,383	—
事業構造改善費用	—	16,288
特別損失合計	165,178	64,873
税金等調整前四半期純利益	3,772,517	4,958,012
法人税、住民税及び事業税	857,105	1,611,308
法人税等調整額	△456,420	264,464
法人税等合計	400,684	1,875,772
少数株主損益調整前四半期純利益	3,371,833	3,082,239
少数株主利益	60,161	74,534
四半期純利益	3,311,671	3,007,705

四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,371,833	3,082,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,468	△785,217
為替換算調整勘定	△14,609	△18,103
その他の包括利益合計	△44,078	△803,320
四半期包括利益	3,327,754	2,278,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,276,370	2,215,233
少数株主に係る四半期包括利益	51,384	63,685

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,772,517	4,958,012
減価償却費	737,273	735,668
のれん償却額	363,248	372,367
負ののれん償却額	△329,558	△329,558
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,383	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△111,576	△16,932
賞与引当金の増減額(△は減少)	57,185	50,701
受取利息及び受取配当金	△310,185	△215,231
支払利息	225,433	190,301
持分法による投資損益(△は益)	△18,430	△18,078
売上債権の増減額(△は増加)	15,179,499	9,019,888
たな卸資産の増減額(△は増加)	△32,928	△743,272
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,555,254	△7,242,696
前受金の増減額(△は減少)	△257,130	83,169
その他	△1,174,313	48,294
小計	8,567,165	6,892,634
利息及び配当金の受取額	333,479	229,486
利息の支払額	△235,715	△191,690
法人税等の支払額	△2,608,387	△958,215
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,056,541	5,972,214
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△634,890	△940,218
定期預金の払戻による収入	708,549	869,730
有形固定資産の取得による支出	△348,276	△2,531,826
有形固定資産の売却による収入	69,065	28,148
無形固定資産の取得による支出	△127,588	△40,830
投資有価証券の取得による支出	△2,449	△523,273
子会社株式の取得による支出	△4,864	△6,000
短期貸付けによる支出	△715,961	△1,030,000
短期貸付金の回収による収入	353,636	688,248
長期貸付けによる支出	△370,000	△300,000
長期貸付金の回収による収入	843,787	381,352
その他	△8	△11,873
投資活動によるキャッシュ・フロー	△228,999	△3,416,542

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△69,000	△840,000
長期借入れによる収入	900,000	220,000
長期借入金の返済による支出	△2,757,376	△5,358,775
社債の発行による収入	494,310	98,590
社債の償還による支出	△564,000	△1,334,000
リース債務の返済による支出	△88,829	△65,410
配当金の支払額	△887,019	△1,196,444
少数株主への配当金の支払額	△4,087	△3,226
その他	△4,421	△1,694
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,980,423	△8,480,961
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,897	△10,357
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,841,220	△5,935,646
現金及び現金同等物の期首残高	10,485,987	21,750,246
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	108,678	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,435,886	15,814,600

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック システム 事業	メディカル サプライ 事業	ヘルスケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	24,223,721	37,617,548	3,822,904	6,367,031	72,031,206	474,546	72,505,753	—	72,505,753
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	496,936	21,265	6,171	241	524,615	5,300	529,915	△529,915	—
計	24,720,658	37,638,814	3,829,076	6,367,272	72,555,822	479,847	73,035,669	△529,915	72,505,753
セグメント利益	1,910,684	711,267	457,988	520,160	3,600,101	60,715	3,660,816	△396,675	3,264,140

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△396,675千円には、セグメント間取引消去101,578千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△498,130千円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック システム 事業	メディカル サプライ 事業	ヘルスケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	26,545,495	42,990,941	3,801,708	7,261,436	80,599,582	517,008	81,116,590	—	81,116,590
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	467,435	80,021	2,021	370	549,847	5,345	555,193	△555,193	—
計	27,012,931	43,070,962	3,803,729	7,261,807	81,149,430	522,353	81,671,784	△555,193	81,116,590
セグメント利益	2,353,857	872,357	567,177	784,308	4,577,700	75,723	4,653,423	△337,752	4,315,671

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△337,752千円には、セグメント間取引消去△142千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△344,264千円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。